|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 解答例 | | | 解説 | |
| １ | 知識アイコン  技能アイコン  知識アイコン  知識アイコン | ⑴　新田  ⑵　ア  ⑶　エ  ⑷　いわし | １ | ⑴　の，用水の整備などをおこない，新田の開発を進めた結果，18世紀初めの耕地面積は，豊臣秀吉の時代に比べて約２倍となっている。  ⑵　イは風力でもみがらを取り除く，ウは用に深く耕せるぐわである。いずれも江戸時代に発明され，農作業の効率が的に高まった。  ⑶　あいは染料としてに利用され，江戸時代は（徳島県）を中心にされた。べにばな（紅花）は染料となるほか，江戸時代には口紅としても利用された。江戸時代は（山形県）を中心に栽培された。  ⑷　江戸時代，九十九里浜ではによりいわし漁がおこなわれるようになり，とれたいわしはという肥料に加工された。 |
| ２ | 技能アイコン  技能アイコン  技能アイコン | ⑴　江戸  ⑵　西り航路  ⑶　大阪 | ２ | ⑴　五街道とは幕府が整備した最も重要な街道で，東海道，中山道，甲州道中，道中，日光道中をさし，江戸の日本橋が起点となっている。  ⑵　西廻り航路は，山形県の酒田，新潟などに集められた物資を，日本海沿岸を西に進み，瀬戸内海を通って大阪まで運んだ。17世紀後半に江戸の商人河村瑞賢によって整備された。  ⑶　・廻船は，江戸と大阪を定期的に往復した船で，菱垣廻船は17世紀前期，樽廻船は18世紀半ばに始められた。 |
| ３ | 知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン  技能アイコン  知識アイコン | ⑴　ａ　井原西鶴  　　ｂ　近松門左衛門  　　ｃ　松尾芭蕉  ⑵　人形  ⑶ | ３ | ⑴　ａ　井原西鶴は大阪の町人で，とよばれる小説の作者。｢好色一代男｣｢日本永代蔵｣などを著した。  ｂ　近松門左衛門は浄瑠璃の台本の作者で，｢｣｢｣などをした。  ｃ　松尾芭蕉は連歌の発句から独立したを芸術として大成した。俳諧紀行文の｢の細道｣を著した。  ⑵　人形浄瑠璃は，三味線をとする語り物に合わせて人形を操る芸能で，現在の文楽につながっている。  ⑶　蔵屋敷は江戸・長崎・大津などにも置かれたが，最も多かったのは大阪の中之島であった。 |